

地図



東京方面から金沢へのアプローチ

航空機利用
羽田空港→小松空港 所要約1時間
(小松空港→金沢駅は北陸鉄道バスで約1時間)

JR利用
東京駅→金沢駅 上越新幹線, ほくほく線経由
所要3時間35分(最速)

小松空港から金沢駅までのアクセス
(北陸鉄道バス利用の場合)
小松空港バス乗り場発 金沢駅行き(兼六園下経由) 金沢駅下車
所要時間 スーパー特急(40分)、市内経由(60分)
料金 1,100円(片道)

金沢駅からキャンパスまでのアクセス
(北陸鉄道バス利用の場合)
金沢駅東口3番乗り場発 料金 350円(片道)
93・94・97金沢大学行き(兼六園下経由) **自然研前**下車

■ 角間キャンパス ■



会場 自然科学系図書館1階
大会議室

シンポジウム・情報交換会に関するお問合せは

金沢大学 IT教育推進プログラム

<http://www.el.kanazawa-u.ac.jp/> e-mail: it-sien@el.kanazawa-u.ac.jp
IT教材作成支援室 担当: 森 祥寛(室長)
〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学インキュベーション施設301号室
Tel 076-264-6117 Fax 076-264-6083

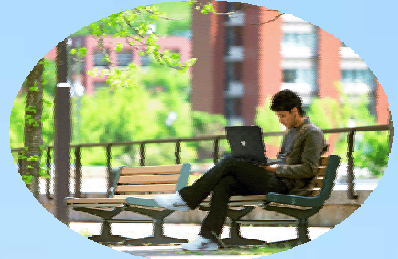
現代GP 金沢大学IT教育推進プログラム 第1回シンポジウム

教員・授業の個性に合わせた
イーラーニング

日時: 平成17年9月16日(金)
会場: 金沢大学自然科学系図書館1階 大会議室

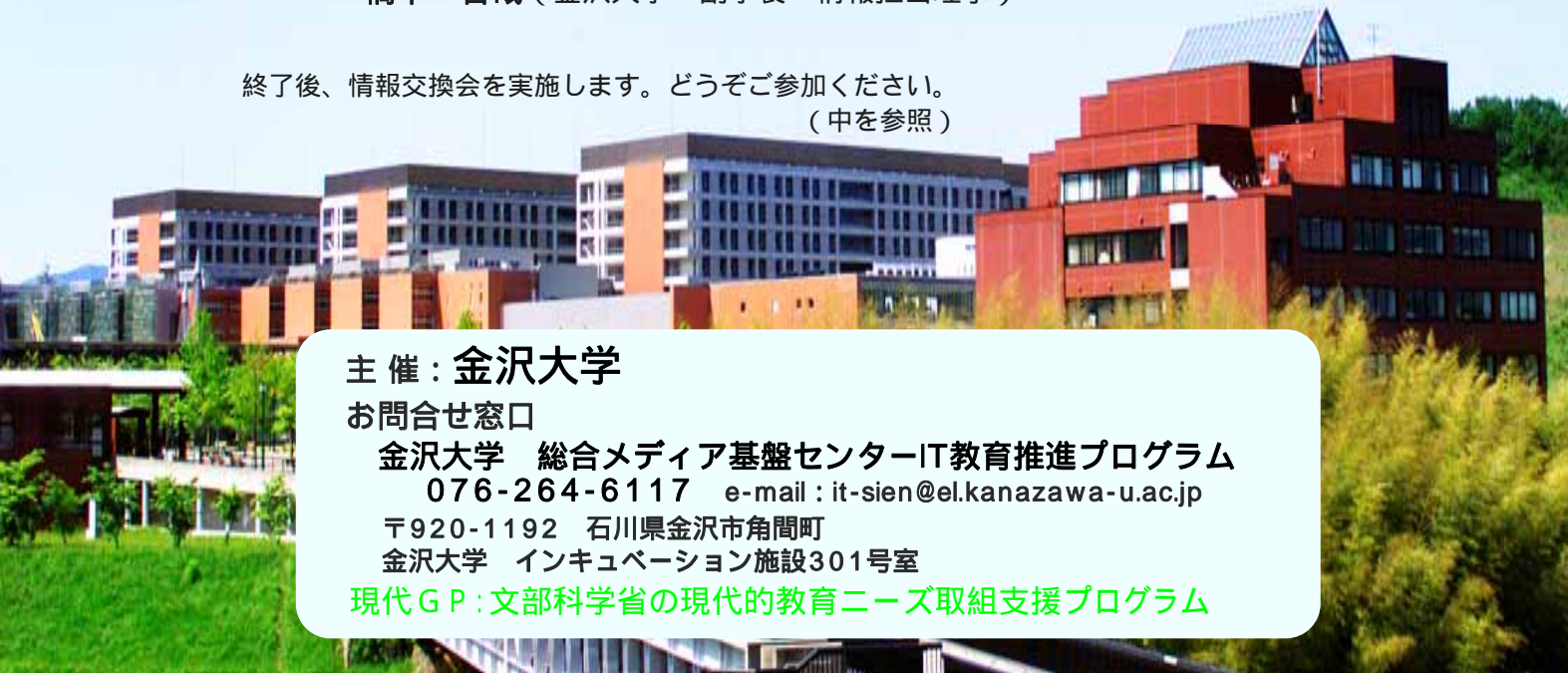
開会 13:00 (受付 12:30~)
林 勇二郎(金沢大学 学長)

- 講演 13:15
- 『現代GPの目的と今後の政策』
文部科学省
 - 『高等教育におけるeラーニングの推進について』
清水 康敬(独立行政法人メディア教育開発センター理事長)
 - 『TIESの挑戦: eラーニングによる大学教育の公開』
中嶋 航一(帝塚山大学 教授)
 - 『素材の共有化とカスタマイズ教材によるイーラーニング』
鈴木 恒雄(金沢大学総合メディア基盤センター 教授、
IT教育推進プログラム実施委員会委員長)



- ポスターセッション 17:00
会場: 金沢大学自然科学系図書館2階「すみれ亭」
- (1) 金沢大学のオリジナル・イーラーニング教材
医学部、薬学部、経済学部、教育学部、文学部、理学部、工学部
総合メディア基盤センター、大学教育開発・支援センター ほか
 - (2) IT教育推進プログラムの社会貢献
 - (3) IT教材作成に役立つ機器・技術・作品の紹介
- 閉会 17:30
橋本 哲哉(金沢大学 副学長・情報担当理事)

終了後、情報交換会を実施します。どうぞご参加ください。
(中を参照)



主催: 金沢大学
お問合せ窓口
金沢大学 総合メディア基盤センターIT教育推進プログラム
076-264-6117 e-mail: it-sien@el.kanazawa-u.ac.jp
〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学 インキュベーション施設301号室
現代GP: 文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム

テーマ 完成度の高いイーラーニング教材を目指して

金沢大学IT教育推進プログラムは、平成16年度、文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」()に採択されました。総合メディア基盤センターと大学教育開発・支援センターを中心に、各局の協力を得て設立されたIT教育実施委員会が活動主体となり、IT教育の大幅導入による金沢大学の教育改革を目指しています。この取組の主目標は、**正規授業へのブレンディッド・イーラーニングの導入**、つまり対面授業のマルチメディア活用とネットワークを利用した予習・復習・課題演習などの自己学習の組織化(1単位45時間の実質化)のためのIT教材の開発です。

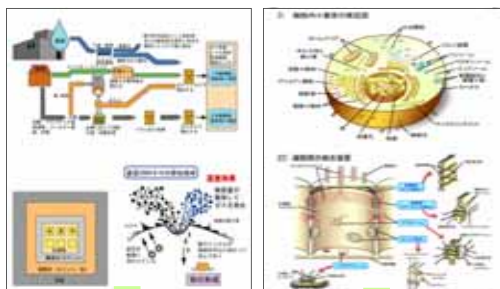
全学的なIT教育の成功例が少ない理由のひとつに、IT教材作成の困難さがあります。充実したIT教材作成は、講義や研究を担う教員には容易なことではありません。そこで、本プログラムの大きな特徴は、金沢大学で独自に作成した「教材用素材」をデータベース化し、素材を共有化することで、教員・授業の個性に合わせた教材作成作業を容易にしたことです。また、IT機器に不慣れな教員をサポートするために、**IT教材作成支援室**を設置し、IT教材作成に必要な機器やスタッフを配置しました。

今回のシンポジウムでは、IT教材作成用の素材データベースと、素材を利用したオーダーメイドIT教材の作成方法、さらに、IT教材作成支援室の支援策を中心にご紹介します。

イメージ図

地球学科の素材例

医学系の素材例



教材作成に必要な文(テキスト)や図(挿絵)、写真、動画などを「素材」単位で作成します。各素材は各学部の現役教員の監修によって作られていますから、実際の教育現場に、即役立つものばかりです。

作成した「素材」は、IT教育推進プログラムの教材専用のデータベースに蓄積します。蓄積された素材は、学部に関係なく利用することができます。

オリジナル教材の作成を希望する教員は、データベースから自分の授業に合った文や図などの素材を選び出し、授業の進行にあうような順序に並べます。

こうして作成した教材は、WEB教材、パワーポイントデータ、教科書、講義ノート、問題集などにも利用することができます。

()「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)は、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定が行なわれ、各大学がテーマの趣旨・目的に沿って確実な計画のもとに新たな大学教育改革を図ろうとしている取組のうち、特に優れた教育プロジェクトを選定し、財政支援を行うことで高等教育の更なる活性化が促進されることを目的としています。また、「知的財産関連教育の推進」は、大学における知的財産(コンテンツを含む)の創造、保護及び活用の促進を目的とし、適切な技術及び知識を有する人材養成に資する取組を選定し、支援を行うものです。



素材を用いてパワーポイントデータ、WEB教材、オリジナル教科書、講義ノートなどを製作する。

FAXにてお申込ください。076-264-6083

金沢大学 IT教育推進プログラム 第1回シンポジウム 参加申込書

定員：120名、参加費：無料

お申込み締切：2005年9月7日(但し、定員に達し次第締切らせて頂きます)

参加者氏名	ふりがな	
大学名(企業名)		
所属・役職名		
住所	〒 -	
TEL・FAX	TEL ()	FAX ()
	e-mail @	

IT教育推進情報交換会 参加申込書

シンポジウム終了後、講師を交えた情報交換会を実施します。

参加ご希望の方は、お申込みください。

会場：金沢大学自然科学系図書館2階「すみれ亭」 午後18:00より

定員：70名、参加費：2,000円(軽食付です。招待状をお持ちの方は無料です)

お申込み締切：2005年9月7日(但し、定員に達し次第締切らせて頂きます)

いずれかに 印を記入して下さい。

参加します	参加しません
-------	--------

*参加費は、当日、受付へお支払いください。

*領収書をご希望の方は、当日、受付へお申し付け下さい。

ご記入頂きました事項は、金沢大学IT教育推進プログラムに関するイベント案内に利用し、目的以外の利用、もしくは第三者提供はいたしません。

きりとり線